

# 知っておきたい 今どき育児 “学童期”



## ♡ 孫の心のオアシスに

いよいよ小学校入学。「しつけ」だけではなく、親は子どもの「教育」でいろいろ悩むものです。子どものことが心配で、親が怒ってしまう場面も増えるでしょう。

三世代同居が多かった時代、親に叱られると、子どもは祖父母の部屋に逃げたものですが、核家族化が進み、今の子どもたちには昔のような逃げ場がありません。「甘やかさないで!」と親は言うかもしれませんが、子どもにとって「甘え」が受け入れられることは必要なことです。

親は、しっかり育てなきゃと思うあまり、肩に力が入って、つつい厳しくしてしまいます。祖父母はそんなときの「ちょっとした逃げ場所」…それが子どもの心にとって必要なのです。

祖父母が甘いからといって、子どもが親より祖父母を選ぶということはありません。自分たちは孫にとっての「心のオアシス」だと思って、たっぷり甘えさせてあげましょう。

## ♡ 孫で「子育て」のやり直しはできません

我が子に「もっと、こうすればよかった」という思いが、孫に向かってしまう祖父母は少なくありません。しかし、自分の娘や息子が期待通りの進路を進んでくれなかったからと言って、孫に期待するのはお門違いです。

「孫でリベンジを！」という意気込みは、孫にとってもその親にとっても、迷惑でしかありません。あなたの育てた子どもを信頼して任せましょう。

## ♡ 予測が難しい時代を生きていく孫

さまざまな理由で、不登校になる子どもが増えています。あなたの孫も例外ではないかもしれません。休みがちになったり、「行かない」と決めたり、保健室なら、放課後なら、フリースクールなら…と、その子なりのペースで一生懸命生活しています。それを見守る親も、大変な思いを抱えています。祖父母の役割は、その親子の気持ちに温かく寄り添うことです。

「根性がない」「勉強が遅れる」「学校は行くものだ」と無理強いすると、孫も親もますます辛くなります。そんなときはむしろ、リフレッシュのために孫を預かったり、平日遊びにくることを歓迎してあげましょう。学校のことには触れないで。

これからは、新たな価値観を認め、多様性を大切にする時代です。孫やその親の行動を「ふさわしくない」と決めつけたり、自己流のアドバイスをしたりしないで、まずは「話したいと思っていること」を聞いてあげましょう。聞いてもらえることで、不安の大半は楽になるものです。

## ♡ ほめて、ほめて、ほめましょう

子どもを伸ばすには、まずほめることが大切…と、ほとんどの親が頭ではわかっています。実際に「よい習慣」は、叱られるより、ほめられた方が定着しやすいものです。けれど、親はなかなかほめられません。親は、子どもに色々な希望と責任があるので、どうしてもだめなところが目についてしまうからです。

その点、祖父母は、価値の判断や善悪の評価を超越できることがあります。「責任」を負うのは親です。「無責任」な祖父母だからこそ孫のすべてを是認し、ほめ続けられます。ほめられると、子どもはうれしくて、得意になって、自分に自信が持てます。自信があれば、挑戦も再起もできます。

### <ほめ方のコツ>

- 1割しかできなくても、その1割をほめる
- その子の以前と比べてほめる（きょうだいやよその子と比べない）
- やったときに、それを確実にほめる（やらないときには何も言わない）
- 存在をほめる（根拠なくほめる）



## ♡ 見守る孫育て

子育てを経験してきた祖父母は、先が見えるだけに心配で、あれこれやったり言ったりしてしまう「過干渉」「過保護」になることがあります。過干渉や過保護は、孫の伸びていく力をそぐこともあるので注意しましょう。

「甘やかす」と「甘えさせる」ことは違います。簡単に言えば、「甘やかす」のは、子どもの物理的・金銭的欲求を満たすことで、「甘えさせる」のは、子どもの精神的欲求を満たすこと。見守られ、精神的に満たされて安心できると、子どもは「次に羽ばたく力」を持てます。

## ♡ ねだられると、買ってやりたくなるけれど・・・

「孫にはつい財布のひもがゆるみがち」という方も多いでしょう。今ほどモノに恵まれない時代、また家計に余裕のないころに子育てをして、後悔が残った祖父母世代は、どうしても孫には不自由がないように買い与えたくなくなってしまいます。孫の喜ぶ顔も見たいですし。

でも、孫もだんだん大きくなると、欲しがるものは高価になります。親が買う必要がないと考えているものも、祖父母にねだれば買ってもらえると思ってしまっては困ります。欲しいとなるとガマンができず、自己破産に追い込まれたり、悪質商法に引っかかりたりする“若者の間でお金トラブル”が目立ってきています。「お金のコントロール力」を子どものときからつけていくために、祖父母の理解や協力が必要です。

## ♡ 長寿時代の「孫育て」

人生100年時代の祖父母世代は、人によって、状況が全く違います。仕事や趣味に忙しい人、自分の親も長寿でその介護を優先しなければならない人、あなたの娘や息子が晩婚・高齢出産のため70代後半で初孫…いずれにしても、限りある自分の「体力・気力・時間・経済力」を、いかに配分して使うかには、かなりの工夫が必要です。

たとえば、「甘やかしたくないけれど、おとなしくしてほしいので、ついねだられるままにお菓子を与えてしまう」とか、「テレビや動画を見せっぱなしにする時間が増えてきた」と感じたら、それは「お疲れのサイン」です。  
自分にブレーキをかけて、断ることも必要です。

## ♡ セルフケアも大切に

「ちょっと疲れたな」と思うときは、自分が預かる代わりに、公営・私営の「一時預かりシステム」を利用してもらうなど、自分をいたわる時間を作りましょう。趣味や旅行、友人との交流の時間も大切にして、リフレッシュしましょう。  
孫の願いは「おじいちゃん、おばあちゃん、いつまでも元気でいてね」です。

## INFORMATION

### 祖父母の最大の仕事は、 老いていく姿を子どもに見せること

祖父母との関わりの中で、子どもは人が老いていく過程や、病気、死といったことについても学んでいきます。

命を粗末にする若者が増えているのは、身近な死を経験していないからではないでしょうか。

何もしなくても、祖父母は「存在しているだけ」で、意味があるのです。

